

	今年度取り組んだ歯科保健事業で、昨年度の取組との変化や新たに取り組んだ事業トピックスなどを教えてください。	歯科保健事業の取組の中で、最もPDCAを展開するのに苦慮する事業名を教えてください。	貴所属における防災基本計画・防災事業計画等に「歯科保健医療」に関する記載がありますか
留萌歯科医師会	①お口の歯の健康キャンペーンは4年ぶりに再開		
留萌市	<p>○ 後期高齢者の歯科健診継続(主管:市民課)。R4受診率0.59%(22人。全体の対象数3,728人)。R5受診数55人(R5.11月時点)。R5は、料金無料(R4まで500円)、口腔機能評価を実施。歯科医師会と連携しながら実施。将来的に国保や成人期全体の歯科健診など、アプローチは必要とは感じている。</p> <p>○ 依頼健康教育の内容は、生活習慣病予防中心だが、歯科保健についても取り入れていきたい。</p>		<p>☆ 災害対策本部の事務分掌に関して記載あり。</p> <p>☆ 保健予防班・保健医療課が担当する項目として、歯科医師会との連絡調整。</p>
小平町	<p>○ 管理栄養士が飲料の砂糖含有量のモデルを作成・掲示</p> <p>○ 糖分の少ない間食の試作及び配布</p>		
羽幌町	<p>○ 令和5年度は例年同様の取り組みを実施し、新たに取り組んだ事業はない。保健と介護予防の一体化事業の中で、広く後期高齢者への質問票の聞き取りをおこなっており、今後分析をおこなう予定である。</p>	<p>■ 主に母子保健事業の中で、歯科保健事業の取り組みをおこなっており各事業ごとの評価はしているが、歯科健診や歯科保健事業・保健指導により齲歯数がどう変化したか等、中・長期的視点から評価するまでには至っていない。</p>	
遠別町	<p>○ 新規事業～成人歯科健診(歯周疾患検診)・後期高齢者歯科健診を開始。</p> <p>○ 継続事業～歯科衛生士による乳幼児歯科相談の対象者を拡充(4カ月・10か月・1歳6カ月・2歳・3歳・4歳・5歳)。</p>	<p>■ 成人歯科健診(歯周疾患検診)・後期高齢者歯科健診～まだ初年度だが、対面で直接受診勧奨しても、なかなか受診に繋がりにくく、申し込みがあっても、その後、なかなか歯科医院予約に至らないケースもある。</p>	
天塩町	<p>○ 町内2か所で開催している高齢者のサロンで、保健師が「オーラルフレイル」に関する講話を行った。</p> <p>○ 令和4年度に、歯科衛生士に講師を依頼し「介護予防講座」を開催。継続して情報提供していくことが必要と考え、今年度は保健師が実施した。</p>	<p>■ 通所C事業では歯科に関して個別指導・評価を行っているが、参加人数も少ないため、事業としての評価は難しいと感じている。(より良い改善方法はないです)</p> <p>■ その他、後期高齢者歯科検診、乳幼児のフッ素塗布・フッ化物洗口等を実施しているが、受診率のみの評価であり、具体的にPDCAの展開は行うことができていない。</p>	

北海道歯科保健医療推進計画(重点項目)

<p>母子歯科:フッ化物利用を普及させ、むし歯が原因で歯を失うリスクを低下させる (主な施策) ① 保育所・小学校等におけるフッ化物洗口の推進 ② 乳幼児・児童生徒が定期的に歯科健診・保健指導を利用出来る機会の確保 ③ 幼児期におけるフッ化物利用(フッ化物塗布、フッ化物配合歯磨剤)の普及</p> <p>成人歯科:口腔保健行動の改善によるセルフケアの習慣化と定期的な歯科受診(健診とプロフェッショナルケア)により、歯周病が原因で歯を失うリスクを低下させる。 (主な施策) ① 成人が歯科健診保健指導を利用できる機会の確保② 歯周病と糖尿病、喫煙、全身疾患に関わる医科歯科連携の推進③ かかりつけ歯科医による定期健診とプロフェッショナルケアの推進</p> <p>高齢者歯科:高齢者が口腔機能を維持し、最後まで口から食事が出来る。 (主な施策) ① 高齢者に対する口腔ケア提供体制の整備② 在宅歯科医療の推進</p>
